

		標 準 天 文			
番 號	英 語	獨 語	支 那 語	邦 語	語
1701	Focal plane	die Brennebene		焦 點	面
1702	Invariable plane	unveränderliche E.	不 變 平 面	變 平 面	面
1703	Orbital plane	die Bahnebene		不 軌 道	面
1704	Prime-vertical plane	die Primvertikalebene		切 西 面	面
1705	Reference plane	die Bezugsebene	定 標 面	基 準 面	面
1706	Tangential plane	die Tangentialebene	切 面	垂 直 面	面
1707	Vertical plane	die Vertikalebene		傾 斜 面	面
1708	Inclined plane	schiefe E.		傾 斜 面	面
1709	Place	der Ort		視 位	置
1710	Apparent place	scheinbarer O.	視 位	視 位	置
1711	Computed place	berechneter O.		算 定 位	置
1712	Mean place	mittlerer O.	平 位	置 平 均 位	置
1713	Star-places	die Sternörter		恒 星 位	置
1714	Planet	der Planet, Wandelstern	行 星	遊 星	星
1715	Distant planet	entfernter P.		遠 離 星	星
1716	Giant planet	der Riesenplanet		巨 大 遊 星	星
1717	Inferior planet	unterer P.	下 行 星	下 位 遊 星	星
1718	Infra-mercurial planet	intramerkurieller P.	內 水 行 星	水 星 內 遊 星	星
1719	Inner planet	innerer P.	內 行 星	內 遊 星	星
1720	Major planet	grosser P.	內 大 行 星	內 大 遊 星	星
1721	Minor planet	kleiner P.	內 小 行 星	內 小 遊 星	星
1722	Outer planet	äusser P.	外 行 星	外 遊 星	星
1723	Perturbing planet	störender P.		攝 動 遊 星	星
1724	Superior planet	oberer P.	上 行 星	上 位 遊 星	星
1725	Terrestrial planet	terrestrischer P.	類 地 行 星	地 球 遊 星	星
1726	Trans-Neptunian planet	ausserneptunischer P.	外 海 行 星	超 遊 星	星
1727	Trojan planet	der Trojanerplanet	脫 離 央 行 星	下 口 遊 星	星
1728	Ultra-Neptunian planet	ausserneptunischer planet	外 海 行 星	海 王 星 外 海 王 星	星
1729	Planetarium	das Planetarium	假 小 行 星	遊 小 星	儀 星
1730	Planetoid	das Planetoid	假 小 行 星	遊 小 星	儀 星
1731	Plumb line	die Lotlinie	鉛 直 線	鉛 直 線	線
1732	Plumb-line deviation	die Lotabweichung		鉛 直 線 偏 差	性
1733	Plurality	die Mehrheit		多 樣	性
1734	Point	der Punkt		點	
1735	East point	der Morgenpunkt	東 方	東 方 點	點
1736	North point	der Nortpunkt	北 方	北 方 點	點
1737	South point	der Südpunkt	南 方	南 方 點	點
1738	West point	der Abendpunkt	西 方	西 方 點	點
1739	Cardinal points	die Hauptpunkte	四 方	主 點	點
1740	Sub-solar point	der Untersonnenpunkt	日 下	日 星 下 點	點
1741	Sub-stellar point	der Unterstellarpunkt	星 下	星 星 下 點	點
1742	Convergent point	der Konvergenzpunkt	會 聚	收 聚 點	點
1743	Starting point			收 出 點	點
1744	Stationary point	der Stillstand		停 留 點	點
1745	Vanishing point			消 滅 點	點
1746	Zero point	der Nullpunkt	合 零	點 點	點
1747	Pointer	der Zeiger	指 極	星 指 示	星
1748	Pointing	das Pointierung		指 指	向
1749	Pole	der Pol	極	極	極
1750	Celestial pole	der Pol des Himmels	天 極	極 天	極

用語表 (21)

- | 番號 | 明 說 |
|------|---|
| 1701 | 星野や遊星面の如き廣さのあるものの像は望遠鏡の焦點に面を作る。 |
| 1702 | 太陽系全體の構造上の一種の平均不動平面、ラプラースが力學上に發見した。 |
| 1703 | 軌道は一平面をなすもので、之れの位置は二要素(傾斜と交點の黃經と)で表はす。 |
| 1704 | 卯酉線が一平面をなすことは容易に理解し得る。 |
| 1705 | 天體や其の軌道を示す場合に基準とする平面。地平面、赤道面、黃道面、銀河面など |
| 1706 | 天球に對して切觸する平面。二重星の軌道を言ふ場合などに用ゐられる。 |
| 1707 | 垂直線を含む平面。子午面、卯酉面などは一例である。 |
| 1708 | 基準面に對して傾いてゐる平面。一般に星の軌道面は黃道に對して傾いてゐる。 |
| 1709 | 天球上の星の經緯度(特に赤經と赤緯と)を言ふ言葉。 |
| 1710 | 觀測したまゝの赤經赤緯。即ち、歳差章動光差視差屈折固有運動等を含むもの。 |
| 1711 | 赤經赤緯を、計算上から得たもの。 |
| 1712 | 歳差と固有運動とのみを含む位置で、章動と光差と視差とを除いたもの。 |
| 1713 | 恒星の赤經と赤緯。略して單に Place とも言ふ。 |
| 1714 | 太陽に直屬する天體で、軌道面の傾斜も離心率も小さいのが原則である。 |
| 1715 | 天王星、海王星、冥王星の如き遠い遊星を言ふ。 |
| 1716 | 巨大な形の遊星。木星と土星が最も著しいが、天王星と海王星とを含んでも宜い。 |
| 1717 | 占星學上の術語で、地球よりも下位にある金星と水點を指す。天文學にも用ゐる語 |
| 1718 | 水星の軌道よりも内部にある未知遊星。ルゼリエが提案したが、恐らく在るまい。 |
| 1719 | 地球よりも内部の遊星。即ち金星と水星。將來若干の小遊星が見つかるかも知れぬ |
| 1720 | 水金地火木土天海の八星。小遊星に對する語。冥王星は含まない方が宜からう。 |
| 1721 | 形の小さい遊星で、多くは火星と木星との間を運動してゐる。冥王星も此の類か? |
| 1722 | 地球よりも大きい軌道の星。即ち火星と其れ以上の大小遊星全部を言ふ。 |
| 1723 | 攝動作用を他に及ぼす遊星。勿論これは問題によるので何れの遊星も攝動を起し得 |
| 1724 | 占星學上の術語で火木土の諸星を言ふ。近年の占星家は天海兩星をも之に加へる。 |
| 1725 | 地球に似た星。即ち水星金星火星(地球も勿論之れに含まれる)の如きを言ふ。 |
| 1726 | 海王星より遠い星。前世紀以來待望されてゐるが、冥王星は此の一つである。 |
| 1727 | 小遊星中、木星と殆んど同じ平均運動のもの。今十數個知られてゐる。 |
| 1728 | 海王星を超える外方に今尚知られてゐない遊星が澤山あるかも知れない。 |
| 1729 | 遊星運行を示す模型。昔から種々あるが、近年ツァイス社製作のものが最も優る。 |
| 1730 | 小遊星の別名であるが、今は殆んど用ゐられない。 |
| 1731 | 重りを下げた糸の線。各地で殆ど一定方向であるが、月の引力により微動する。 |
| 1732 | 地球橢圓面への垂直線と鉛直線との傾斜角。地下の構造により20"以上に達するあり |
| 1733 | ものの多種多様性。星數の多いこと、宇宙開闢の時から星は多かつたとの説もある |
| 1734 | 天球面上に於ける幾何學的な點。昔しは星も點と考へた。 |
| 1735 | 卯酉線と地平線との交はり。春分や秋分には此の點から太陽が昇る。 |
| 1736 | 子午線と地平線との交はり。地上測量のための重要な基準となる點。 |
| 1737 | 子午線と地平線との交はりで、北點の正反對にある。之も測量術上の重要點である |
| 1738 | 卯酉線と地平線との交點で、春分や秋分には此の點で太陽が地下に没する。 |
| 1739 | 東點と西點と南點と北點との總稱である。 |
| 1740 | 太陽を天頂に眺め得る土地。日蝕の時などに觀測上の重要性がある。 |
| 1741 | 或る星を天頂に眺め得る土地。 |
| 1742 | 物の集中する點。例へば光が集中する焦點の如きもの。又ヒヤガス運動は集中する |
| 1743 | 運動の始まる點。 |
| 1744 | 遊星が停留する點。 |
| 1745 | 星像が消えるやうに見える點の位置を器械の尺度で計つた點。 |
| 1746 | ものさしの零點。 |
| 1747 | 北極星を指示する大熊座α ² 兩星。又、オリオン ³ の三つ星はシリウスの指示星である |
| 1748 | 望遠鏡や其他の器械器具等を目的物(星など)に正しく向けること。 |
| 1749 | 一つの圓に對して極といふ點が二つある。幾何學で認められてゐる。 |
| 1750 | 天の赤道の兩極。地球上の北半球からは北極が見え、南半球からは南極が見える。 |